

東和便り

第5号 決まりやルール・マナーを守ろう号

2013.5.13 東和中学校

自分の姿や行動を鏡に映してみよう！

◎最近、気になること(朝の挨拶運動や地域の方々からの連絡から)

スカートの丈が短くなってきた子、髪の毛が少し茶色くなってきた子、名札やネクタイを着けていない子が少し増えてきたように感じています。

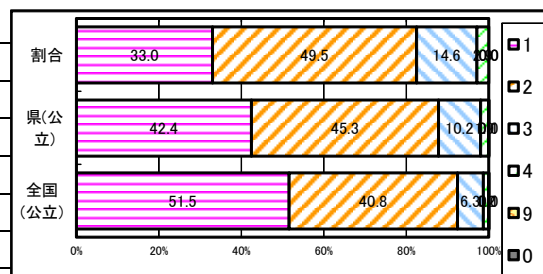
また、学校周辺の道路に集団でたむろして(蝸集行為といいますが)、通行人や周辺の住民に迷惑をかけているとの連絡も多くあります(道路でサッカーをする、道路に自転車を放置する、お菓子などの包み紙やペットボトルや缶を放り散らかす等)。

さらに、夜遅く塾の帰りに大声を出しながら数人で帰宅することで、道路周辺の家庭の睡眠妨害等の行為をしているという情報も(本人達は迷惑行為をしている意識はないが)寄せられています。

平成24年度全国学力・学習状況調査より

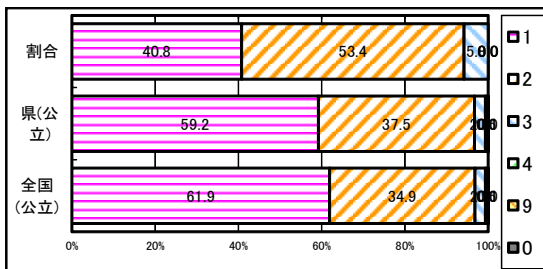
(32)学校の規則を守っていますか

	本校	県	全国
1 当てはまる	33.0	42.4	51.5
2 どちらかといえば、当てはまる	49.5	45.3	40.8
3 どちらかといえば、当てはまらない	14.6	10.2	6.3
4 当てはまらない	2.9	1.9	1.2
9 その他	0.0	0.0	0.0



(33)友達との約束を守っていますか

	本校	県	全国
1 当てはまる	40.8	59.2	61.9
2 どちらかといえば、当てはまる	53.4	37.5	34.9
3 どちらかといえば、当てはまらない	5.8	2.6	2.5
4 当てはまらない	0.0	0.6	0.6
9 その他	0.0	0.0	0.0



本校で実施する様々なアンケートの結果からは、「社会のルールを破る」「学校の決まりを破る」といったことは、悪いことだと考えている子がほとんどです。

「決まり」や「ルール」を守ることで、周りの人から信頼されます。逆に、破るとその信頼を失い、最終的には自分自身が辛い思いをしなくてはなりません。「決まり」や「ルール」を破ることで、必ず不愉快や思いをする人、迷惑な思いをする人、悲しい思いをする人、辛い気持ちになる人がいるのです。

今一度、自分の姿や行動を鏡に映して、自己チェックをしましょう！

※朝の読書活動をみんなで充実させましょう！

保護者の皆さまへ

いじめ、暴力行為、不登校、情報モラルに起因するトラブルなど、子どもたちの生活の中で、様々な問題が発生しています。その背景として、子どもたちの規範意識の低下や人間関係を育む力の未熟さ等が考えられます。

子どもたちは、家庭や学校生活の中で、決まりやルール、約束を守ったり破ったりしながら、人との関係のあり方や社会の決まりの大切さを学んでいきます。

「決まりや約束事が自分や周囲の人を守ってくれている」という体験の積み重ねが大切なのです。下記に、学校で守ること、家庭で守ることの一部を記載しました。ご理解・ご協力をお願いします。

学校で守ること

- ・時間を守る
- ・掃除をする
- ・返事をする
- ・忘れ物をしない
- ・身だしなみの決まりを守る
- ・あいさつをする
- ・係の仕事を果たす
- ・静かに話を聞く
- ・提出物の期限を守る

家庭で守ること

- ・早寝早起きをする
- ・お手伝いをする
- ・寄り道をしない
- ・誰を遊ぶか伝える
- ・宿題をする
- ・時間を決めて遊ぶ
- ・帰宅時間を守る
- ・無駄使いをしない
- ・パソコンや携帯電話の使い方を守る

学校と家庭で子どもたちの自尊感情を育みましょう

自尊感情とは、自分に対する肯定的な感情のことです。規範意識を育てると同時に、「自分は認められている、大切にされている」という自尊感情を育むことで、他の人を大切にしようとする気持ちも高まるのです。

自尊感情(自己評価)の高い子は、自分を大切にしようという気持ちから、自分をダメにすることは避けようとします。一方、自尊感情(自己評価)が低い子は、自信を失い、どうでもいいという気持ちから、法に触れることでも、友達の誘いや目先の興味のままに行動しがちです。

学校では、自尊感情(自己評価)を高めるために、授業や行事、部活動等を通して、達成感を持つような工夫をし、できたことを上手にほめて、やる気を伸ばすことにつなげていきたいと考えています。家庭でも、以下のような事例を参考にいただき、子どもたちの自尊感情を高めていきましょう。



- ・お手伝いした、誰かの役に立ったことをほめる
- ・子どものがんばりを認め、喜ぶ
- ・親子で一緒に楽しむ時間を持つ
- ・まちがった行いには、その行いについてきちんと叱る

※朝の読書活動をみんなで充実させましょう！